

トピックス

■【大阪モノレール】大阪に京急車両？！大阪モノレールラッピング車両

大阪(伊丹)空港にアクセスする大阪モノレールの車両が京浜急行の外装にラッピングされ、乗客を驚かせている。

大阪モノレールは2017年10月10日から1年間で予定し、京浜急行電鉄の車両をイメージしたラッピングを施し運行している。羽田空港アクセス路線である京急が、「伊丹から羽田に着いたら都心へは京急で」といった広告効果を狙い、大阪モノレールから伊丹空港を利用し、東京に向かう利用者に訴求するものと思われる。京浜急行の競合電鉄、京急が広告として他社線にラッピング列車を走らせるのは、今回が初めて(コラボ企画で他社線に京急風の列車が走ったことはある)。東京モノレールにかけて大阪モノレールを選んだ形だ。

ちなみに、この「京急ラッピングモノレール」は京急2100形電車がモデルで、ラッピングされたのは、大阪モノレール1000系電車の第21編成。「21」つながりで1000系電車の第21編成を選んで、2100形のラッピングをした。

また、2100系デザインのラッピングに加え、京急イメージキャラクターのくりーむしちゅーもデザインされており、インパクト大だ。



▲京急車体カラーが施された大阪モノレール1000系車両

■【京阪】枚方市駅をリニューアル 駅内装デザインは無印良品がプロデュース

京阪ホールディングス(株)、京阪電気鉄道(株)、(株)京阪百貨店、(株)京阪ザ・ストアは、11月7日、枚方市駅(大阪府枚方市)を、「無印良品」を展開する良品計画のデザインでリニューアルすると発表した。良品計画が駅内のデザインを手がけるのは初めてだという。

駅とつながっている京阪百貨店の2階には無印良品の大型店舗が入る(2018年5月オープン予定)。また、駅ナカ事業として中央改札内のコンビニエンスストア「アンスリー」と一部構内店舗区画を一体化し、生鮮食品や総菜も扱う店舗や飲食店を(株)京阪ザ・ストア直営の新業態店舗として展開する(2018年末オープン予定)。

枚方市駅は1日の乗降客数が約9万人で京阪ホールディングス(株)では京橋駅、淀屋橋駅に次いで利用者が多い。海外でも無印良品は人気が高いため、京都と大阪を行き来する外国人観光客の取り込みも目指し、駅が観光の目的となるよう取り組む予定だ。



▲枚方市駅中央ロコンコースリニューアルイメージ

■【阪急/大阪地下鉄】アプリやLINEスタンプを導入

阪急電鉄では、「Hankyu Densha」シリーズのデザインを使用したLINEスタンプを2017年11月10日より発売した。日常で使えるあいさつや阪急電車の駅名看板スタンプなど40種類をラインナップされている。

大阪市営地下鉄ではアプリを2018年2月リリース予定だ。詳細はまだ不明だが、「もっとオオサカを楽しみましょう」をコンセプトにおでかけ情報やトレンド情報を発信するようだ。大阪市交通局のホームページでは、追加情報として、12月1日に便利な機能の紹介が配信される模様だ。

2016年9月から販売している阪急電鉄グッズ「Hankyu Densha」シリーズは阪急電車をポップなイラストで仕上げ、沿線各地の風景イメージを用いたオリジナルグッズで、LINEスタンプは今回初のデジタルコンテンツ商品となる。



▲阪急電鉄LINEスタンプ



▲大阪地下鉄アプリ告知ポスター

■【御堂筋】御堂筋ランウェイ今年は30万人来場

御堂筋パーティー2017実行委員会(構成団体=大阪府、大阪市、経済団体等)では、大阪のメインストリートである「御堂筋」において集客力のあるイベントを実施することで、大阪の魅力を国内外にアピールする御堂筋ランウェイを開催している。

今年11月12日の御堂筋ランウェイでは、『御堂筋から未来へつながるスポーツとパフォーマンスの祭典』をテーマに実施。大阪では、ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西が連続で開催される「ゴールデンスポーツイヤーズ」を迎えるとともに、さらに、「2025年日本万国博覧会」の大阪・関西への誘致など、日本、大阪が盛り上がりつつあり、未来に繋がる躍動・希望を発信した。

御堂筋の中央に本町駅から心斎橋駅まで緑に染まった400メートルの“フィールド・ランウェイ”が出現。オリンピックや世界陸上など、世界の舞台で活躍を続ける現役トップアスリートのアリソン・フェリックスさんが御堂筋を駆け抜けた。また、大阪出身の元メジャーリーガー黒田博樹さんらによる「400メートルリレーキャッチボール」は、臨場感たっぷり迫力満点だ。

さらに、2025大阪万博誘致アンバサダーとして、ダウンタウンがフィールド・ランウェイを歩き、知事ら関係者と万博PRを展開し、好評を博した。

また、会場の南側エリアでは、今年御堂筋が完成し80年の周年とあり、完成当時の御堂筋の街並みを再現するとともに、御堂筋の未来の姿をテーマとした「みんなの芝生広場」空間を創出し、未来の御堂筋を体感できる空間づくりも行った。



▲御堂筋ランウェイ告知



▲イベント当日の様子



▲御堂筋ランウェイマップと当日スケジュール